

6月20日時点新型コロナウイルス感染症予防対策

(白鳥・沼ノ端利用団体用)

令和2年5月25日 現在

令和2年6月19日 修正

苫小牧市スポーツ協会作成

この予防対策は、令和2年5月14日付「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（スポーツ庁発信）」を参考に作成しています。三つの密（密閉、密集、密接）の防止、大声での発生や近接した距離での会話、適切な感染予防対策（入場者の制限や誘導、手指消毒液の設置、マスクの着用、室内の換気等）について取り決めするものです。

(1) 受付窓口対応

- ①施設職員はマスクを着用し業務にあたらせていただきます
- ②受付窓口透明アクリル板、透明ビニールカーテンを設置し、飛沫感染の防止対策を行います
- ③受付職員が利用者の体調を口頭で確認させていただきます
※発熱、せき、のどの痛みなどの症状はないか

(2) 一般滑走・貸しスケート・カジュアルホッケー対応

- ①新型コロナウイルス感染者が発生した際に備え受付の際、利用者から以下の事項を記載した単票の提出を求めます。
※氏名、年齢、連絡先（電話番号）、当日の体温（未計測でも利用可）
- ②更衣室は可能な限り2部屋準備しますが、密を避けるためリンクサイドにもスケート靴履き替え用のベンチを設置いたします

(3) 専用貸切

- ①利用団体は日々のスクリーニングを行い、新型コロナウイルス感染症の症状チェックや検温など選手の体調管理を行ってください
- ②利用団体はスポーツ中を除き、移動中はマスクを着用してください
- ③利用団体が出したゴミは全て持ち帰りとし、施設にゴミを残さない様ご協力お願いいたします
- ④防具は家から着用して来館し、着替え時間は最小限とするなどご協力ください
- ⑤ウォーターボトルを複数人で共有することや、チームのウォーターボトルを使用しないでください
- ⑥タオルの共用は行わないでください
- ⑦練習を行う際は感染予防の観点から周囲の人と2m程度距離を空けるようにしてください

(4) 選手控室

- ①選手控室は感染のリスクが高いと考えられますので、利用人数は1室10～15名を基本とし15名を超える団体には2部屋準備いたします
- ②2部屋でも密集を避けられない場合は、選手ベンチ横及び、車椅子観戦席によるスケート靴履き替えを許可いたします
- ③選手控室の利用時間は、利用開始の1時間前から、利用終了後30分を目安に貸し出ししていますが、集合の時間を遅らせることや解散を速やかに行うなどのご協力をお願いいたします

- ④選手控室における長時間のミーティングは三密を作る要因となりますので禁止いたします
- ⑤控室カギについて、貸し出しは当面の間行わず、利用人数の確認のみ行いますので、貴重品はコインロッカーに入れるなど対策をお願いいたします
- ⑥控室の換気扇は常時運転、控室ドアについては当面の間、常時開放でご利用ください
ただし、女子チーム、女子選手利用の際はこの限りではありません
- ⑦選手控室使用後は、職員による消毒作業を行いますので、練習後速やかに退室してください
- ⑧選手控室使用後は、職員が5分程度の換気対策を行います
利用団体においては、館内結露の原因になりますので、窓の開閉を行わないでください
- ⑨練習試合に伴う選手控室については、各1室を準備し利用人数は15名以内とし、入室できない選手についてはリンクサイドに設置するベンチで着替えをお願いいたします

(5) 共用スペース等

- ①ロビー入り口に利用者用の手指消毒液を設置いたしますので入館退館の際ご利用ください
- ②手洗い場には石鹸等を準備いたします「手洗いは30秒以上」をお願いいたします
- ③ロビーにあるベンチについては、三密を避けるため当面の間撤去いたします（沼ノ端）
- ④風除室については、換気対策のため常時開放とさせていただきます（悪天候時除く）
- ⑤ロビー等のゴミ箱は感染拡大防止の観点から当面の間利用不可といたします
- ⑥観客席は、ソーシャルディスタンスの観点から1m程度空けて座るようご協力ください
また、列についても1列間をおきとします
- ⑦送迎の保護者は、観客席以外の館内ロビーなどには出来るだけ留まらず、屋外又は、自家用車で待機するなどのご協力をお願いいたします

(6) 報告の義務

- ①アイスホッケーはコンタクトスポーツであるため、トレーニングや試合をするプレイヤー全員が濃厚接触者です。利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、管理者に対して速やかに感染者及び、濃厚接触者について報告し、情報提供に協力してください

(7) その他

感染防止のために管理者が決めたその他の措置を遵守し、管理者の指示に従うこと